

LM・成長国ブルーチップ社債ファンド (毎月分配型／為替ヘッジあり)

運用報告書（全体版）

第42期	決算日	2016年4月5日
第43期	決算日	2016年5月6日
第44期	決算日	2016年6月6日
第45期	決算日	2016年7月5日
第46期	決算日	2016年8月5日
第47期	決算日	2016年9月5日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	平成24年10月5日～平成34年9月5日まで	
運用方針	主に新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド	新興国の企業が発行する米ドル建ての社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月5日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「LM・成長国ブルーチップ社債ファンド（毎月分配型／為替ヘッジあり）」は、2016年9月5日に第47期の決算を行いましたので、第42期、第43期、第44期、第45期、第46期、第47期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率			
	円		円	%	%	百万円	
18期(2014年4月7日)	9,489		40	0.8	95.9	—	982
19期(2014年5月7日)	9,477		40	0.3	97.0	—	953
20期(2014年6月5日)	9,651		40	2.3	95.6	—	934
21期(2014年7月7日)	9,693		40	0.8	96.1	—	887
22期(2014年8月5日)	9,522		40	△1.4	98.9	—	831
23期(2014年9月5日)	9,649		40	1.8	100.0	—	838
24期(2014年10月6日)	9,390		40	△2.3	94.8	—	792
25期(2014年11月5日)	9,393		40	0.5	101.8	—	774
26期(2014年12月5日)	8,880		40	△5.0	102.4	—	678
27期(2015年1月5日)	8,541		40	△3.4	95.6	—	640
28期(2015年2月5日)	8,360		40	△1.7	95.6	—	588
29期(2015年3月5日)	8,497		40	2.1	91.7	—	603
30期(2015年4月6日)	8,456		40	△0.0	92.1	—	684
31期(2015年5月7日)	8,605		40	2.2	91.1	—	704
32期(2015年6月5日)	8,559		40	△0.1	96.1	—	711
33期(2015年7月6日)	8,432		25	△1.2	95.5	—	725
34期(2015年8月5日)	8,329		25	△0.9	99.6	—	679
35期(2015年9月7日)	8,031		25	△3.3	91.7	—	624
36期(2015年10月5日)	7,840		25	△2.1	93.9	—	565
37期(2015年11月5日)	8,119		25	3.9	95.0	—	578
38期(2015年12月7日)	7,908		25	△2.3	96.8	—	558
39期(2016年1月5日)	7,780		25	△1.3	95.9	—	454
40期(2016年2月5日)	7,692		25	△0.8	94.6	—	441
41期(2016年3月7日)	7,852		25	2.4	91.3	—	443
42期(2016年4月5日)	7,968		25	1.8	90.8	—	443
43期(2016年5月6日)	8,043		25	1.3	90.9	—	447
44期(2016年6月6日)	8,069		25	0.6	90.3	—	473
45期(2016年7月5日)	8,191		25	1.8	92.0	—	356
46期(2016年8月5日)	8,275		25	1.3	92.8	—	360
47期(2016年9月5日)	8,339		25	1.1	96.5	—	353

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率	率		
第42期	(期 首) 2016年3月7日	円		%	%	%
		7,852	—		91.3	—
	3月末	7,967	1.5		91.9	—
第43期	(期 末) 2016年4月5日		7,993	1.8	90.8	—
	(期 首) 2016年4月5日		7,968	—	90.8	—
	4月末	8,040	0.9		92.6	—
第44期	(期 末) 2016年5月6日		8,068	1.3	90.9	—
	(期 首) 2016年5月6日		8,043	—	90.9	—
	5月末	8,043	0.0		93.8	—
第45期	(期 末) 2016年6月6日		8,094	0.6	90.3	—
	(期 首) 2016年6月6日		8,069	—	90.3	—
	6月末	8,158	1.1		87.2	—
第46期	(期 末) 2016年7月5日		8,216	1.8	92.0	—
	(期 首) 2016年7月5日		8,191	—	92.0	—
	7月末	8,290	1.2		95.1	—
第47期	(期 末) 2016年8月5日		8,300	1.3	92.8	—
	(期 首) 2016年8月5日		8,275	—	92.8	—
	8月末	8,387	1.4		95.6	—
第47期	(期 末) 2016年9月5日		8,364	1.1	96.5	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

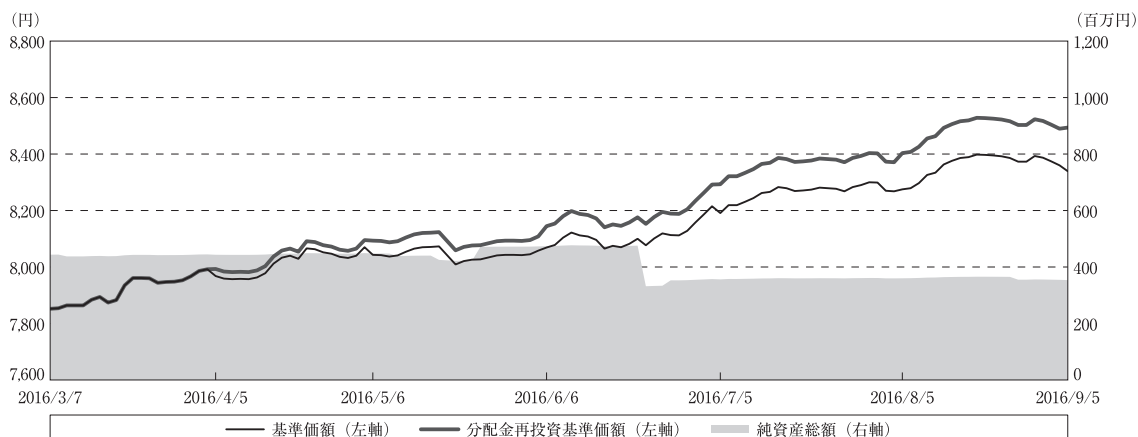
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2016年3月8日～2016年9月5日)



第42期首：7,852円

第47期末：8,339円（既払分配金（税込み）：150円）

騰落率：8.2%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年3月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

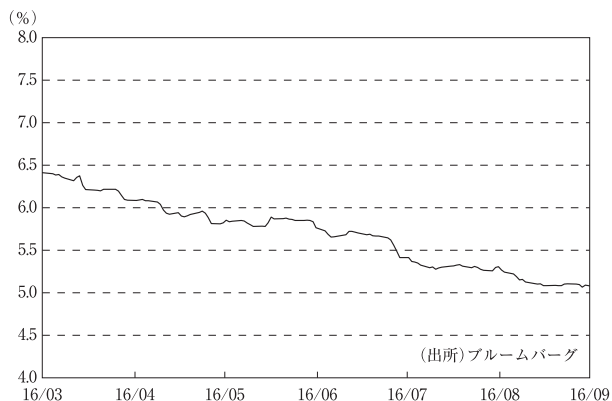
(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2016年9月5日）のLM・成長国ブルーチップ社債ファンド（毎月分配型／為替ヘッジあり）（以下、当ファンド）の基準価額は8,339円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス8.2%（分配金再投資ベース）、基準価額は637円（分配金込み）上昇しました。公社債利金を手堅く確保しました。また、公社債損益についても、新興国社債市場の利回りの低下を受け、プラスとなりました。

当ファンドが主要投資対象とする新興国社債の動きを示すJPモルガンCEMBIブロード指数の利回りは低下しました。期の前半は、原油価格が上昇し、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことや、欧州中央銀行（ECB）が追加緩和を決定したことなどを受け、利回りは低下しました。また、米連邦準備制度理事会（FRB）による今後の利上げペースが緩やかになるとの見方が広がったことも、利回りの低下要因となりました。期の半ばは、英国の国民投票で、欧州連合（EU）離脱派が勝利するという予想外の結果となり、欧州だけでなく世界中で不確実性が大きく高まりましたが、英国と新興国の経済上の直接的な繋がりは限られていることから、新興国市場のパフォーマンスは総じて落ち着いた動きとなりました。期の後半は、FRBのハト派色が強まる中、世界各国の中央銀行が極めて緩和的な金融政策を維持したことを受け、利回りは引き続き低下しました。

JPモルガンCEMBIブロード指数（利回り）の推移



当ファンドは、主に「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指した運用に努めました。また、当ファンドの実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指します。当ファンドの運用においては、業種別では石油・ガス、工業等などへ引き続き厚めに配分しています。これらは新興国にとって戦略的な産業であり、国のサポートを受けやすいセクターであると判断しているためです。地域別では、中南米地域やアジアへ厚めに配分しています。

分配金

(2016年3月8日～2016年9月5日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2016年3月8日～ 2016年4月5日	2016年4月6日～ 2016年5月6日	2016年5月7日～ 2016年6月6日	2016年6月7日～ 2016年7月5日	2016年7月6日～ 2016年8月5日	2016年8月6日～ 2016年9月5日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.313%	0.310%	0.309%	0.304%	0.301%	0.299%
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	245	250	256	264	270	276

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

米国の金融政策については、FRBは2015年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）において政策金利の引き上げを決定し、金融政策の正常化に着手しました。ただし今後については、経済動向を見極めながら、慎重に追加利上げの時期を探っていくものと思われま

す。長期的な投資クラスとしての新興国社債は魅力的であると考えており、投資魅力のある銘柄を今後も組み入れていく所存です。ただし、バリュエーション、需給バランス、ビジネスモデルの有効性などを考慮し、銘柄やセクターの選択において極めて慎重な投資スタンスを維持する方針です。

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、主に「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指した運用に注力していく所存です。

○1万口当たりの費用明細

(2016年3月8日～2016年9月5日)

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 68	% 0.829	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(33)	(0.404)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.404)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.052	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.028)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(1)	(0.017)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出 に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	72	0.881	
作成期間の平均基準価額は、8,147円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年3月8日～2016年9月5日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第42期～第47期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド	千口 91,285	千円 127,601	千口 143,930	千円 197,624

(注) 単位未満は四捨五入。

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月8日～2016年9月5日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2016年3月8日～2016年9月5日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2016年3月8日～2016年9月5日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2016年9月5日現在)

親投資信託残高

銘柄	第41期末		第47期末		
	口	数	口	数	評価額
LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド		千口		千口	千円
		304,759		252,115	360,625

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年9月5日現在)

項目	第47期末	
	評価額	比率
LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド	千円 360,625	% 99.9
コール・ローン等、その他	251	0.1
投資信託財産総額	360,876	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(651,099千円)の投資信託財産総額(661,808千円)に対する比率は98.4%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月5日における邦貨換算レートは1米ドル=103.93円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
	2016年4月5日現在	2016年5月6日現在	2016年6月6日現在	2016年7月5日現在	2016年8月5日現在	2016年9月5日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	879,364,162	892,979,205	968,898,370	980,248,152	714,993,108	731,119,280
LM・成長型ブルーチップ社債マザーファンド(評価額)	435,507,559	446,601,100	465,958,431	340,372,619	354,666,907	360,625,686
未収入金	443,856,603	446,378,105	502,939,939	639,875,533	360,326,201	370,493,594
(B) 負債	436,022,805	445,274,748	495,277,851	624,121,603	354,964,711	377,483,554
未払金	434,031,136	443,235,760	493,156,048	622,465,866	353,353,438	375,898,485
未払収益分配金	1,390,923	1,391,627	1,467,470	1,086,989	1,087,702	1,060,209
未払信託報酬	583,169	630,747	635,297	551,602	508,040	509,577
その他未払費用	17,577	16,614	19,036	17,146	15,531	15,283
(C) 純資産総額(A－B)	443,341,357	447,704,457	473,620,519	356,126,549	360,028,397	353,635,726
元本	556,369,388	556,651,125	586,988,226	434,795,603	435,081,125	424,083,984
次期繰越損益金	△113,028,031	△108,946,668	△113,367,707	△78,669,054	△75,052,728	△70,448,258
(D) 受益権総口数	556,369,388口	556,651,125口	586,988,226口	434,795,603口	435,081,125口	424,083,984口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,968円	8,043円	8,069円	8,191円	8,275円	8,339円

<注記事項>

(注1) 元本の状況

 当作成期首元本額 564,997,049円

 当作成期中追加設定元本額 85,855,992円

 当作成期中一部解約元本額 226,769,057円

(注2) 元本の欠損

 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は70,448,258円であります。

○損益の状況

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2016年3月8日～ 2016年4月5日	2016年4月6日～ 2016年5月6日	2016年5月7日～ 2016年6月6日	2016年6月7日～ 2016年7月5日	2016年7月6日～ 2016年8月5日	2016年8月6日～ 2016年9月5日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	8,457,471	6,177,601	3,739,894	6,839,330	5,279,251	4,292,520
売買益	23,089,532	23,967,233	10,737,986	27,681,372	27,519,546	17,020,727
売買損	△ 14,632,061	△ 17,789,632	△ 6,998,092	△ 20,842,042	△ 22,240,295	△ 12,728,207
(B) 信託報酬等	△ 600,746	△ 647,361	△ 654,333	△ 568,748	△ 523,571	△ 524,860
(C) 当期損益金(A+B)	7,856,725	5,530,240	3,085,561	6,270,582	4,755,680	3,767,660
(D) 前期繰越損益金	△ 101,804,972	△ 95,339,170	△ 86,241,269	△ 59,216,844	△ 54,033,251	△ 49,061,105
(E) 追加信託差損益金	△ 17,688,861	△ 17,746,111	△ 28,744,529	△ 24,635,803	△ 24,687,455	△ 24,094,604
(配当等相当額)	(6,098,701)	(6,106,339)	(7,296,003)	(5,837,614)	(5,916,259)	(5,771,088)
(売買損益相当額)	(△ 23,787,562)	(△ 23,852,450)	(△ 36,040,532)	(△ 30,473,417)	(△ 30,603,714)	(△ 29,865,692)
(F) 計(C+D+E)	△ 111,637,108	△ 107,555,041	△ 111,900,237	△ 77,582,065	△ 73,965,026	△ 69,388,049
(G) 収益分配金	△ 1,390,923	△ 1,391,627	△ 1,467,470	△ 1,086,989	△ 1,087,702	△ 1,060,209
次期繰越損益金(F+G)	△ 113,028,031	△ 108,946,668	△ 113,367,707	△ 78,669,054	△ 75,052,728	△ 70,448,258
追加信託差損益金	△ 17,688,861	△ 17,746,111	△ 28,744,529	△ 24,635,803	△ 24,687,455	△ 24,094,604
(配当等相当額)	(6,099,432)	(6,107,056)	(7,461,257)	(5,908,694)	(5,917,016)	(5,771,891)
(売買損益相当額)	(△ 23,788,293)	(△ 23,853,167)	(△ 36,205,786)	(△ 30,544,497)	(△ 30,604,471)	(△ 29,866,495)
分配準備積立金	7,542,267	7,863,287	7,596,623	5,611,571	5,869,238	5,944,916
繰越損益金	△ 102,881,437	△ 99,063,844	△ 92,219,801	△ 59,644,822	△ 56,234,511	△ 52,298,570

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	1,596,745	1,712,647	1,628,394	1,382,664	1,345,369	1,287,866
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	6,099,432	6,107,056	7,461,257	5,908,694	5,917,016	5,771,891
(D) 分配準備積立金	7,336,445	7,542,267	7,435,699	5,315,896	5,611,571	5,717,259
分配対象収益額(A+B+C+D)	15,032,622	15,361,970	16,525,350	12,607,254	12,873,956	12,777,016
(1万円当たり収益分配対象額)	(270)	(275)	(281)	(289)	(295)	(301)
収益分配金	1,390,923	1,391,627	1,467,470	1,086,989	1,087,702	1,060,209
(1万円当たり収益分配金)	(25)	(25)	(25)	(25)	(25)	(25)

○分配金のお知らせ

	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
1 万口当たり分配金 (税込み)	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。

分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド

運用状況のご報告

第4期 決算日 2016年9月5日

(計算期間：2015年9月8日～2016年9月5日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」の第4期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主として新興国の企業が発行する米ドル建ての社債を中心に投資を行います。 2. 投資対象とする債券の格付けに制限は設けません。 3. 外貨建資産の為替ヘッジはしません。
主 要 運 用 対 象	新興国の企業が発行する米ドル建ての社債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		騰落	率			
(設定日)	円		%			百万円
2012年10月5日	10,000		—	—	—	1,907
1期(2013年9月5日)	12,096		21.0	97.2	—	2,342
2期(2014年9月5日)	14,562		20.4	96.2	—	1,555
3期(2015年9月7日)	14,737		1.2	95.8	—	966
4期(2016年9月5日)	14,304		△2.9	94.7	—	661

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰落	率			
(期首)	円		%			%
2015年9月7日	14,737		—	95.8		—
9月末	14,432		△2.1	93.7		—
10月末	15,184		3.0	93.4		—
11月末	15,327		4.0	96.0		—
12月末	14,742		0.0	96.3		—
2016年1月末	14,617		△0.8	94.8		—
2月末	13,996		△5.0	92.7		—
3月末	14,312		△2.9	92.4		—
4月末	14,148		△4.0	91.1		—
5月末	14,374		△2.5	91.9		—
6月末	13,646		△7.4	91.2		—
7月末	14,149		△4.0	94.0		—
8月末	14,234		△3.4	94.7		—
(期末)						
2016年9月5日	14,304		△2.9	94.7		—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額の推移

(2015年9月8日～2016年9月5日)



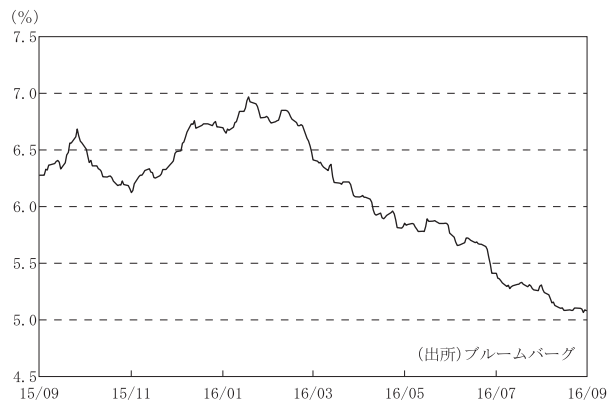
○基準価額の主な変動要因

当期末（2016年9月5日）のLM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド（以下、当ファンド）の基準価額は14,304円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス2.9%、基準価額は433円下落しました。公社債利金を手堅く確保しました。また、公社債損益も新興国社債市場の利回りの低下を受けて、プラスとなりました。一方、為替損益については、米ドル安・円高の進行を受け、マイナスとなりました。

当ファンドが主要投資対象とする新興国社債の動きを示すJPモルガンCEMBIブロード指数の利回りは低下しました。期の前半は、中国景気への懸念などから世界的に株価が下落し、利回りは上昇して始まりました。その後、欧州中央銀行（ECB）による追加緩和期待などに支えられ、利回りは低下に向かいましたが、原油価格が下落基調となると、再び上昇する展開となりました。米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを決定したことも、利回りの上昇要因となりました。期の半ばは、ECBが追加緩和を決定したことなどを受け、利回りは低下に転じました。FRBによる今後の利上げペースが緩やかになるとの見方が広がったことも、利回りの低下要因となりました。期の後半は、英国の国民投票で、欧州連合（EU）離脱派が勝利するという予想外の結果となりましたが、英国と新興国の経済上の直接的な繋がりは限られていることから、新興国市場のパフォーマンスは総じて落ち着いた動きとなりました。期末にかけては、FRBのハト派色が強まる中、世界各国の中央銀行が極めて緩和的な金融政策を維持したことを受け、利回りは引き続き低下しました。

当期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。期の前半は、中国景気への懸念から株価が世界的に下落したことや、原油価格が下げ基調となったことなどを受け、米ドル売り・円買いが優勢となりました。期の半ばは、日銀がマイナス金利の導入を含む追加緩和策を決定したことから、米ドル買い・円売りが一時強まりました。しかし、FRBによる今後の利上げペースが緩やかになるとの見方が広がると、米ドル売り・円買いが再び優勢となりました。期の後半は、英国の国民投票でのEU離脱決定を受けてリスク回避姿勢が強まったことから、米ドル売り・円買いが一時加速しました。その後は、堅調な米国株式相場を背景に米ドルが対円で反発する一方、日銀の追加緩和策が期待外れとなったことを受けて対米ドルで円高が強まるなど、米ドルはやや方向感の定まらない展開となりました。

JPモルガンCEMBIブロード指数（利回り）の推移



米ドル／円相場の推移



当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主に新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指した運用に努めました。投資対象とする債券の格付けに制限は設けません。ただし、ポートフォリオ全体の平均格付けはBBB-/Baa3格以上を維持することを目指します。当ファンドの運用においては、業種別では石油・ガス、工業等などへ引き続き厚めに配分しています。これらは新興国にとって戦略的な産業であり、国のサポートを受けやすいセクターであると判断しているためです。地域別では、中南米地域やアジアへ厚めに配分しています。

○今後の運用方針

米国の金融政策については、FRBは2015年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）において政策金利の引き上げを決定し、金融政策の正常化に着手しました。ただし今後については、経済動向を見極めながら、慎重に追加利上げの時期を探っていくものと思われま

す。長期的な投資クラスとしての新興国社債は魅力的であると考えており、投資魅力のある銘柄を今後も組み入れていく所存です。ただし、バリュエーション、需給バランス、ビジネスモデルの有効性などを考慮し、銘柄やセクターの選択において極めて慎重な投資スタンスを維持する方針です。

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、主に新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指した運用に注力していく所存です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年9月8日～2016年9月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 8	% 0.053	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(8)	(0.053)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	8	0.053	
期中の平均基準価額は、14,430円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年9月8日～2016年9月5日)

公社債

		買 付 額		売 付 額	
		千円ドル		千円ドル	
外 国	アメリカ	国債証券	450		41
		特殊債券	33		—
		社債券（投資法人債券を含む）	1,830		4,342 (7)

(注1) 金額は受渡し代金。（経過利息分は含まれておりません。）

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年9月8日～2016年9月5日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年9月5日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	5,929	6,027	626,466	94.7	—	80.8	9.0	4.9
合 計	5,929	6,027	626,466	94.7	—	80.8	9.0	4.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		債 務 年 月 日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	国債証券	FED REPUBLIC OF BRAZIL	5.625	270	271	28,194	2047/2/21
		REPUBLIC OF ARGENTINA	6.875	150	162	16,923	2021/4/22
		REPUBLIC OF ARGENTINA	8.28	28	32	3,347	2033/12/31
	特殊債券 (除く金融債)	HARVEST OPERATIONS CORP	2.125	200	201	20,993	2018/5/14
	普通社債券 (含む投資法人債券)	BANK OF EAST ASIA LT FRN	4.25	200	205	21,399	2024/11/20
		BBVA BANCOMER SA TEXAS	6.75	200	227	23,631	2022/9/30
		BHARTI AIRTEL INTERNATIO	5.35	200	221	22,987	2024/5/20
		CEMENTOS PACASMAYO SAA	4.5	100	103	10,730	2023/2/8
		CEMEX FINANCE LLC	9.375	200	221	22,994	2022/10/12
		CENCOSUD SA	4.875	200	214	22,248	2023/1/20
		CHINA OVERSEAS FIN CAYMA	6.375	200	259	26,934	2043/10/29
		CNOOC FINANCE 2012 LTD	3.875	200	214	22,316	2022/5/2
		ECOPETROL SA	5.875	100	107	11,181	2023/9/18
		ECOPETROL SA	5.875	90	83	8,715	2045/5/28
		EMPRESA NACIONAL DE ELEC	4.25	30	32	3,344	2024/4/15
		HUTCH WHAMPOA INT 12 II	3.25	300	318	33,092	2022/11/8
		INRETAIL SHOPPING MALLS	6.5	80	85	8,875	2021/7/9
		INVERSIONES CMPC SA	4.5	260	274	28,578	2022/4/25
		KAZMUNAYGAS NATIONAL	4.4	200	200	20,863	2023/4/30
		LUKOIL INTL FINANCE BV	6.656	100	113	11,835	2022/6/7
		MARFRIG HOLDING EUROPE B	6.875	200	206	21,409	2019/6/24
		OFFICE CHERIFIEN DES PHO	5.625	200	218	22,699	2024/4/25
		OJSC RUSS AGRIC BK(RSHB)	7.75	100	107	11,146	2018/5/29
		OVERSEA-CHINESE BANKING	4.25	200	216	22,520	2024/6/19
	PACIFIC RUBIALES ENERGY	5.375	200	34	3,611	2019/1/26	
	PELABUHAN INDONESIA III	4.875	200	216	22,474	2024/10/1	
	PERTAMINA PERSERO PT	4.3	200	208	21,643	2023/5/20	

銘	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	普通社債券 (含む投資法人債券)	PERUSAHAAN GAS NEGARA	5.125	200	215	22,422	2024/5/16
		PETROBRAS GLOBAL FINANCE	6.85	20	16	1,748	2115/6/5
		PETROBRAS INTL FIN CO	4.375	205	180	18,722	2023/5/20
		PETROLEOS DE VENEZUELA S	6.0	70	26	2,746	2024/5/16
		PETROLEOS MEXICANOS	3.5	100	96	10,067	2023/1/30
		PETROLEOS MEXICANOS	6.875	16	18	1,928	2026/8/4
		SOUTHERN COPPER CORP	3.875	10	10	1,047	2025/4/23
		SOUTHERN COPPER CORP	5.25	120	113	11,839	2042/11/8
		TRANSPORT DE GAS PERU	4.25	200	206	21,454	2028/4/30
		VALE OVERSEAS LIMITED	5.875	40	41	4,307	2021/6/10
		VALE OVERSEAS LIMITED	6.875	260	255	26,515	2036/11/21
		YPF SOCIEDAD ANONIMA	8.5	40	43	4,500	2021/3/23
		YPF SOCIEDAD ANONIMA	8.75	40	43	4,468	2024/4/4
合 計					626,466		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年9月5日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	626,466	94.7
コール・ローン等、その他	35,342	5.3
投資信託財産総額	661,808	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(651,099千円)の投資信託財産総額(661,808千円)に対する比率は98.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月5日における邦貨換算レートは1米ドル=103.93円です。

○特定資産の価格等の調査

(2015年9月8日～2016年9月5日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年9月5日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	661,808,957
コール・ローン等	25,764,976
公社債(評価額)	626,466,150
未収利息	9,224,123
前払費用	353,708
(B) 負債	29
未払利息	29
(C) 純資産総額(A－B)	661,808,928
元本	462,672,306
次期繰越損益金	199,136,622
(D) 受益権総口数	462,672,306口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,304円

<注記事項>

元本の状況	
期首元本額	655,763,903円
期中追加設定元本額	137,739,834円
期中一部解約元本額	330,831,431円
期末における元本の内訳	
LM・成長国ブルーチップ社債ファンド(毎月分配型/為替ヘッジあり)	252,115,273円
LM・成長国ブルーチップ社債ファンド(毎月分配型/為替ヘッジなし)	204,543,028円
LM・成長国ブルーチップ社債ファンド(毎月分配型/為替ヘッジあり)(運用機関投資家専用)	1,612,992円
LM・成長国ブルーチップ社債ファンド(毎月分配型/為替ヘッジなし)(運用機関投資家専用)	4,401,013円

○損益の状況 (2015年9月8日～2016年9月5日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	37,675,883
受取利息	37,626,463
その他収益金	51,965
支払利息	△ 2,545
(B) 有価証券売買損益	△ 64,253,040
売買益	64,338,621
売買損	△128,591,661
(C) 保管費用等	△ 378,071
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 26,955,228
(E) 前期繰越損益金	310,659,204
(F) 追加信託差損益金	57,716,627
(G) 解約差損益金	△142,283,981
(H) 計(D+E+F+G)	199,136,622
次期繰越損益金(H)	199,136,622

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。